

蓋井島地区まちづくり集会（H25.10.12 開催）

蓋井島地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年10月12日（土）10:00～11:30

◎場 所 蓋井島漁村センター

◎出席団体数 10団体

蓋井島自治会、蓋井小学校PTA、潮さい倶楽部、吉見第10長寿会、蓋井地区スポーツ振興会、民生児童委員協議会、蓋井島消防団、水産振興団体、地区島づくり協議会、青年水産研究会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫  
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三  
吉見支所支所長補佐：友田瑞恵

◎傍聴者 4名

◎次第

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会                 | 10:00～ |
| 2 部長あいさつ              |        |
| 3 基本的な推進方向について        | 10:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明       |        |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 10:30～ |
| （1）地域課題について           |        |
| （2）課題解決や活性化などについて     |        |
| （3）総括                 |        |
| 5 閉 会                 | 11:30  |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

## 蓋井島地区まちづくり集会（H25.10.12 開催）

### 【開催の様子】

10月12日に開催した蓋井島地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から10名にご参加いただき、自治会長を司会として、蓋井島地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



### 【課題整理結果】

蓋井島地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

蓋井島地区まちづくり集会

10月12日

蓋井島地区まちづくり集会

No2 10月12日

| 地域課題                         | 個人で解決するもの<br>(自助) | 地域で解決するもの<br>(共助)               | 行政が解決するもの<br>(公助)         |
|------------------------------|-------------------|---------------------------------|---------------------------|
| <b>教育</b>                    |                   |                                 |                           |
| 本土通学時の寮(廃止)問題<br>施設老朽化・運営の課題 |                   | 寮再開等を市へ要望                       | 寮の再開やその他対策を検討・実施(短期・長期視点) |
| <b>産業</b>                    |                   |                                 |                           |
| 磯力せが増え海藻が育たない                |                   | 地域で対策等検討・駆除                     |                           |
| <b>文化</b>                    |                   |                                 |                           |
| 金民羅までの参道の整備<br>(坂・雨天時はすべる)   | 山島の散歩道とも関連        | 自治会が整備への労務負担                    | 参道整備のための資材等の支援            |
| <b>環境</b>                    |                   |                                 |                           |
| 海岸漂着ごみの処理問題<br>(本土運搬・島内処理)   |                   | 島民による海岸清掃継続<br>(市との協定)          |                           |
| 島が管理する土地の除草場所<br>が広すぎる       |                   | ごみ課題を市に相談<br>コンクリート舗装を自治会から市に要望 |                           |
| <b>交通</b>                    |                   |                                 |                           |
| ガードレールが老朽化し危険                |                   | 島民への注意喚起                        | 早期修繕の実施                   |
| 使いやすい渡船待合所の整備                | ロッカー設置・冷暖房対策      | 青雲寮に待合所を作る(市:部局連携)              |                           |

| 地域課題                       | 個人で解決するもの<br>(自助) | 地域で解決するもの<br>(共助) | 行政が解決するもの<br>(公助)               |
|----------------------------|-------------------|-------------------|---------------------------------|
| <b>観光</b>                  |                   |                   |                                 |
| 来島者の休憩場所が無い                |                   |                   | 東屋の整備(部局連携で渡船待合所を整備)            |
| <b>その他</b>                 |                   |                   |                                 |
| 島外人材の有効活用(交流)              |                   | 市との協同で来島者を増やす     |                                 |
| <b>子育て</b>                 |                   |                   |                                 |
| 島内の子供のための保育園整備<br>(保育園的施設) |                   | 島民ができる範囲での保育を实践   | 島民との協力で、保育充実への支援を実施(人材・教材その他援助) |

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

それでは今、指名をいただきましたので私が司会をさせていただきます。このような席だと改まったような感じになりますが、意見ですので下の金比羅様とかで、一杯飲むような時に話をする感じで私は良いと思いますので、皆さんもどんどん意見をよろしくお願ひします。それでは課題というか意見というかある方は手を上げて言ってください。

【市民】

今、自分はPTAという立場で発言させていただきますと、蓋井島から小さな子どもがたくさん小学校に上がっていきます。小学校は現在も続いていて、休校にもならずにいるので大丈夫と思いますが、中学生は吉見中学校に行くと青雲寮に入ることになります。その寮が今回もう存続しないということなので、その代わりになるようなものを今、模索しているところなんです。

そのため、私の子がどうなるかは、まだ決まってははいないんですけど、来年度から中学校に行くようになるので、今から考えないといけないとは思っています。今、下の子が入る寮が無くなった場合にどうなるのか、まだ全然決まってる段階なので、市へのお願いになります。

今、二人のお子さんを連れて小倉から島に移り住んでこられた方がいて、現在、蓋井小学校に通っていますが、中学校に上がる頃には寮が無くなるということで、それについてもまだ決まってる状態です。もし、そういう子ども連れの方が蓋井に移り住んで、蓋井の小学校に通わせたいとなっても、そういった課題があるので、移住を躊躇されるのではないかという気がします。

【司会】

今、PTA会長より青雲寮が無くなりそうだという意見がありましたが、将来的にそうなる見込みなんかね。蓋井の子どもが今からだんだん増えてきている中で、市もいよいよ将来的に青雲寮をなくすって予定だろうか。

【市】

私も教育委員会を離れて長くなるので、余り安易なことは言えませんが、実際問題、そう簡単に無くすという話にはならないと思います。今は、中学校に通う生徒がいないので青雲寮を閉鎖していたのでは。

【市民】

いいえ、今回、青雲寮を閉鎖すると教育委員会からはっきり言われました。

【市】

要するに、下宿みたいな形でといった提案が教育委員会からしているそうです。

【市民】

いいえ、教育委員会からは、はっきりと提案や対案というのは何もなくて、こちらから来年4月の話なので切羽詰まって、アパートを借りることにしました。私の場合は、たまたま長女が市内に住んでいるので、その子に面倒見てもらうということで、アパートだけ借

りるということ、こちらから提案して話を進めてるのですが、青雲寮を今後どうするといった話は教育委員会からはまだ全然ないですね。

【市】

そうですね。それはちょっと勘違いしたかもしれませんが、そういう提案を教育委員会からして、そこへ補助金が出せるのか、出せないのかといった検討をこれからするんだと思っていました。

【市民】

そういう対応であれば、それに補助金を出せるか出せないかっていう提案もあったかもしれませんが、まだ何も決まってない段階です。

【市】

部長も私も、以前、教育委員会の総務課にいたことがあって、青雲寮のことは少し分かりますが、この建物が結構古くなっていますし、当然寮長や生徒の食事の世話をする人とも必要になるということで、寮の存続についての判断が出来ないんだと思います。

どちらにしても教育委員会が事前にしっかりご相談しないと、いきなり閉鎖ということにはならないでしょうからね。

【市民】

いいえ、6月の段階で1度、学校支援課の課長が来られました。

【市】

来年中学校に上がる児童は1人ですが、現在、中学校に通われている生徒はいますか。

【市民】

今は島から中学校に通う生徒はいません。青雲寮が現在、閉鎖している状態なので、来年度から再開してもらえるものかと思っていたら、9月になって突然、もう来年打ち切るからと言って来られたんです。

【市】

通学する生徒がいたら、何らかの手立てをしないといけないというのが本来の形だと思いますよ。だから、青雲寮を継続するとなると、今お話をした寮母さんが要る、舎監さんが要るとなって色々な制約がかかり難しくなるので、本当は吉見にまかない付で引き受けていただける方がいらっしゃれば良いのですが。

【市民】

そういう案も教育委員会にはあったのかもしれないが、そういう方はいないという話です。

【市】

本来なら何かしらの方法を探さなければいけませんし、教育も知りませんという話にはならないと思います。

【市民】

今の時点であと半年を切っていますから。

【市】

今日、私達が結論を出すという立場にはありませんので、もう一回その件について教育

にお伝えしておきます。

【市民】

いいえ、今回の件は自分からアパートを借りると提案したもので、現在は教育委員会から返事を待っている状況です。しかし、今回はそれで乗り切れるとしても、この先、蓋井小学校には今2年生の児童がいますので、その時点までには対策をとって頂きたいと考えています。

【市】

ということは、今、2年生と1年生が蓋井島にいるが、その子供が中学校に上がる間に、もしかしたら新たに5年生くらいのお子さんを連れて定住される場合もあるかもしれませんので、そういったことも想定してきちんと教育委員会が方針を出すべきでしょうね。

【市民】

そうしないと、やっぱり先々の子供が皆困ってくると思うんですよ。

【市】

これまで青雲寮に入っていた生徒の数で一番少ないとき何人いましたか。1人のときはありましたか。高校生も入っていた事がありましたよね。

【市民】

4人が最後と思うんですけど。

【市民】

青雲寮があった頃は、そこから高校に通学する生徒も中にはいました。

総合政策部長から教育委員会に改めて話してみてくださいませんか。島の子供も最近人数が増えてきていますので、先々を見込んで、地元にも情報を入れてもらわないと困ります。

まだ検討段階で、はっきり結論が出ていないのなら再度検討してもらって欲しい。

【市民】

青雲寮に入れないという結論は既に出ています。

【市民】

それなら島民から極力要望しないといけなかった。教育委員会の言われたことを、このまま島民も納得する訳にはいかんよ。

【司会】

来年中学校に上がる子は、高校を卒業するまで最長6年間だけど、本当は今後、中学校に上がる子といってもしばらく間が空きますよね。だから、そういった事があるんで、今から寮を改修といっても相当の費用が掛りますよね。

今の青雲寮は、耐震化の問題とかしばらく使っていなかったから中がボロボロなんで、それを改修するにもすごい経費が掛かる。それとネックはさっき言われた舎監とか寮母の問題もあるから。

【市】

今の件について、学校支援課から報告を受けていました。

小倉から移住された2年生と1年生、6年生は地元の人。

これなのですが、教育委員会からの報告では、来年、青雲寮の再開が難しいと言ったの

は、舎監、或いは指導員の人選が難しいということが一点。それと築45年で建物の老朽化が進んでいて、耐震化工事や改修工事が必要だということで、来年春までの対応が困難なので、どうも下宿、アパートのお話をさせて頂いているとのことです。地元からご提案頂いたということで、地元が余分にかかる経済的負担については現在、教育委員会で負担できないかという支援策を考えているとのことです。

【市】

もっと先の長い話として、今言ったように来年の対応は難しいということなので、青雲寮をもう一度改修してでも再開するのか、或いはお引き受け頂けるまかないの付いた下宿等、民間住宅を確保していくかといった事も含めて検討しているとのことです。

吉見の民間住宅の空き状況は分かりませんが、青雲寮を改修するくらいなら民間住宅を借りるという選択肢もありますので、一概に結論は言えませんが、長い目で見て青雲寮を再開というか、宿舎が要るということは良く理解しているので、その辺りを今後も相談させて頂きながら進めて行くとのことです。

現在、6年生はいますが、その次となると移住者がいない限り、あと4年間という猶予がありますので、もうちょっと時間を掛けて検討させてもらえませんか。地元がそういった心配をされているということは、もう一度教育委員会にも良く伝えておきますので。

【市民】

将来的に閉鎖するといった考え方を持たないでおいて頂きたい。今、島は子供が段々と増えていますので。

【市】

本来は舎監、指導員、或いは寮母さんを置くということは、それだけ責任を持ってお子さんをお預かりしないといけないと思うんですよ。だから、生徒に下宿してもらってそこから通ということになると、誰が責任を持つのかとなります。何か事件や事故が起こってもいけませんが、そういうことがあったときに、誰が監督していたのかとなりますので、その辺りを踏まえて良く考えないといけないのではないかと思いますから、良く言っておきます。

【司会】

そうですね、この青雲寮の運営は、本当にお金結構かかるものでなかなか難しいとは思いますが、やっぱり島民のためには青雲寮みたいなものを作って欲しいと思います。時間もありませんので次にいきましょう。

【市民】

地域課題ということで、青年会がしている磯の黒ガゼの駆除を、どうにか皆でやれたら良いなっていうのが一つあります。ちょっと年々磯焼けが目に見えてひどいので、これを皆でどうにかしたらいいと思います。

【司会】

私は磯見もしていますが、多分、今年の台風18号で北の道がすごく荒れて、アワビやサザエの餌になるカジメが根こそぎ駄目になったことがありました。

今年はどうなることかと心配しているところですが、更に黒ガゼがカジメを食べるので、

駆除しないといけなくなっています。これは地域の中の問題と思いますが一応青年会のほうはこんな意見があったということで検討致します。

これは市に言っても、なかなか対応が難しいと思いますので、これは地域の中で改めて考えていこうと思います。

【市民】

去年、タウンミーティングで要望したのですが、金比羅さんの道路について、市からは政教分離の立場から、鳥居のある参道への対応は難しいというご回答を頂いていますが、鳥居といっても、元々、金比羅さんへの参道は、鳥居のある道ではなかったんですよ。

あの鳥居は自分達が勝手に作ったもので、今の道も風車があったから灯台の人が金比羅さんに上がるための道だったと思うんです。昔からの参道は、今ある道から焼け野に向かって現在水道が通っているところ、その途中に参道があって金比羅さんに登っていました。

段々と皆が参道を通らなくなったので、今の場所に鳥居を地元で移動させました。

それで今度、市に要望いくための島民アンケートをするといわれたので、出したんですよ。やっぱり金比羅さんに上がる道をどうかして欲しいという意見がとても多かったので、市に要望を出しました。市も財政が厳しいということなので、出来ないとなればこの件は今からの話になると思いますが、ブロックなどの資材を島まで送ってもらえたら、自分達でブロックを立てて階段のように出来ないかなと思っているんです。

島も、先ほど老人会から言われたように、島民は100パーセント自治会活動に協力するけど昔と違って人口が減って自治会員も減少していますし、自治会も財政難です。

労働は自分たちがしますので材料だけはどうか市から補助、援助してもらえればと思います。それと島民の方にもお手伝いをお願いしたいと思います。

【市民】

頭に入れておかないといけんことは、今の鳥居から上まで自治会の土地では無いということ。あの上の土地は全部第7管区の土地であって、それを作るときには第7管区にお願いして、多分、ダメだとは言わないとは思いますが、自治会の土地では無いということ。

【市民】

第7管区に行って聞いてみたら、道を作るというのは第7管区よりも先に、市に確認してきて下さいと言われ、市から言って貰えればほとんど無償で貸しますよと言われました。

だから、市の方から整備してくれと言いに行かないと、なかなか上手くいきません。

それと、今年度で終わったことですが、やまどりの散歩道というのを前の市長さんの時から継続して作って頂きましたが、その道が今の金比羅さんに上がる鳥居の下までつながっていて、あとその上がる道が100メートルも無いのですが、それが結構な坂なのです。

そこに上がると、ものすごく良い見晴らしになるもので勿体ないのですね。

【市】

公園緑地課も場所を良く知っていて、言われることなのでしょうね。

この道は市道ではないから道路課が回答するのではなくて、公園緑地課が回答しているのですよね。その回答で政教分離を理由に出来ませんということでしょう。

この件については、私がどうにかなりますとはちょっと言えませんが、ご提案としては

材料さえあれば自分達でやってもいいという話ですものね。それこそ、まちづくりの一つの例に当ることですから、ちょっとこれも私達の課題として持って帰らせてください。

【地元】

先ほども言いましたが、上からの見晴らしがすごく良いですよ。島の中には民宿も何軒かあるので、観光企画というか、何か一つでもそういった景色を見たいという人に来てもらえれば、少しは地元にも金が落ちると思うんです。

【市】

だから、その参道整備という意味ではなくて、あくまでも観光目的での整備や公園整備を目的にやりたいという話ですよ。

【市民】

今日、たまたま金比羅祭をやっていて、地元がお参りするんですが、年配者は道が悪いから上がれないんです。

【市】

お話は分かりました。

【市民】

水産関係で参加していますが、磯枯れの件は青年会が発言したので、海岸漂着物の処理について発言させていただきます。海浜清掃をすると海岸に流れ着くペットボトルの量がすごいですよ。それを集めてもなかなか本土に送る機会がないので、何かそういったものの処理施設という、ちょっとした焼却炉みたいなものを作って貰えないかと思います。

ゴミを集めても台風が来たら、全部ばらばらになってしまっても大変なので、その日にすぐ焼くか、熱して溶かし固まりにしてから近くに埋めるといった設備があったら助かるんですが。

【司会】

それと、発泡スチロールのゴミもすごくて、発泡スチロールは腐らないからものすごい量で、それに油を掛けると溶けるんだけど、その後の油をどこに持って行けば良いのかという問題が出てきて、なかなかそれを溶かすまでいかないんですよ。島から本土に送るにもすごい量だから難しいです。

【市】

結構難しい問題ですね。行政に燃やしても良いかと聞いても多分、駄目と言われるんじゃないかなと思います。そういった行為や施設を作るといって、そういう許認可施設をここに作るということ自体が駄目なんじゃないかと思うんですね。だから、さあどうするかって話になるのですが、ちょっとこれも結構難しい話だと思いますね。

【市】

廃掃法という法律があって、今は燃やすことが出来ないということが一つと、それらを燃やすとダイオキシンが出ますので、皆さんが良いと言っても市からはいいよとは言えないと思います。一番良いのは、どの位の量があるか分かりませんが、頻繁に本土の処理場に送る形が一番かなと思います。

【市】

面と向かって市に言われると駄目って言ってしまいそうなんですよ。埋めるといっても埋め立て許可がありますし。

施設を作ってくれと言ったら、それは本来してはいけませんという話になりそうな件ですね。この件は帰って関係部署に伝えることも良いかどうかという話にもなるんですけど。

【市民】

市が頻繁に回収してくれればこんな問題も起こらないけど、向こうも受けてから経費が掛かりますからね。

【市】

例えば保管施設があれば良いとか、そういう話にはなるんですか。

ペットボトルだったら圧縮して、一時どっか溜めておく所があればでしょうが、圧縮の機械も高価ですから。

【市】

海岸漂着ゴミが、やっぱり海外の物が多いですか。

【市民】

海外も多くて、韓国製品が多くあります。国内の物と中国、韓国の物が半々くらい。

一度、自治会長に言ったんですよ。島にそういう処理場を作ってよそからも受け入れたらどうかと。だけど、そういうのは駄目だって言われたんですけどね。

【市】

処理施設となると今は規制が厳しいので、それこそ処理をするだけで何十億、何百億って話になりかねない。

吉母に埋め立て処分場がありますよね。あれもやっぱり海に処理場からの水を流さないようにすごいシートを張っています。それでも漁民の方は、そういった迷惑施設ということで結構嫌がりますよね。やっぱり頻繁に送るのが一番手っ取り早いとは思いますが、環境部が取りに来てくれるのかという話になるんですね。

【市民】

ペットボトルぐらいならいいけど発泡スチロールは軽いけど、すごく嵩があつて。

5年、10年これはもう、ずっとつきまとう問題だろうと思うんですけどね。

今は、みかんの油で溶かすとかもできるらしいですが、みかんの油自体は公害ではないけど、溶かした分をどこに持っていくかということが問題になりそうなんですよね。

【市】

こうしたいと言うのではなくて、島でこういう困った問題があるということを一度、環境部に言われたことはありますか。余りこうしたいと言うと、市としては駄目ってことになりそうなので、こんな事で困っているのを集めて来てくれないかと言えば。

今は、本土でも海岸線に沢山の漂着物があつて、今言われたように燃やすのではなく集めてから運びますからね。何トンも運んで焼却してもらおうという話になっていますが、それも実際、本土の海岸で焼いてはいけなかと相談があります。これも海岸線を人力で運ぶのが大変ということですが、やっぱりダメという話になっています。

【司会】

時間も残り少ないので、次は潮さい倶楽部から発言して下さい。

【市民】

潮さい倶楽部の会長をしています。潮さい倶楽部は、この近辺の浜や公園でも清掃活動をしています。掃除する範囲が広いのでコンクリートで舗装をしてもらいたいと思っ  
ているんですが、こういったのは自治会に言うべきことですか。

漁村センターの裏や向こうの海岸の伝馬船を引いている場所など。

【市】

コンクリートを張れる場所には、張って欲しいといった話でしょうか。

【市民】

はい、特にここの裏側でずっと伝馬船を引いてる所と道路の隙間が開いている所がある  
んですよ。そこが一番人が通る所で、掃除もすごくしないといけない場所なんですけど。

それともう一つ、ちょっと別の話ですが、ガードレールの下に足下注意という札が下が  
っている場所があって、その場所はどうしていったら良いですかね。自分たちが網でも張  
って危なくないようにするとか。

【市】

この前、要望で頂きましたよね。かなりガードレールというか手摺を作るといような。  
ガードレールが老朽化して折れたり腐っていたり。

【市民】

何ヶ所かは出来ていますが、残りの部分は予算の問題ではないかと思うけど。

島の道は狭くて、道より外にガードレールが出ている箇所もあって、実際、子どもがそ  
こから落ちた事もあるんですよ。最悪、市でガードレールの上部分をして貰えれば、あ  
とは地元で流れてきた網なんかを使って対策もできるんですが。

支柱が腐っていたりしたらどうしようもないし、これから子どもの数も増えるので、と  
ても危険なんですよ。

今年、多分それはして頂けるとは思いますがね。

【市】

もう一度、関係部局には言ってみましょう。危険だからといって網を張るのもどうかと  
は思いますが、ガードレールが直れば良いということですね。直れば網を張る必要もない  
ですから。

【市民】

網はどうにかなるので、とにかく駄目になっているガードレールを先に直してもらわな  
いと、網を張ることもできないということです。

【市民】

足下注意の札は、市の担当者と業者で去年、全部見て歩いて、市の担当者も船の関係で  
時間がなかったので、私にその札を下げてくださいと言って、帰られたんですよ。

だからダメな箇所は大体分かっているはずですが、未だに出来ないのは予算の関係かも  
しれませんね。

【市】

ちょっと状況を確認してみましよう。ご要望のあった箇所を全部直せば良いんでしょ  
うが、それでもやっぱり順番がありますから、地元がここだけはやって欲しいとか。

この前、要望された時に、その順位を伝えてはいますか。何ヶ所もありましたよね。

【市民】

順位は言っていない。

【市】

この前の要望には写真も添付されてはいましたし、道路課にはきちんと要望意見も上がり  
ますので、改めてお返事もあるとは思いますが、こちらからも聞いてみましょう。

【司会】

それでは長寿会どうぞ。

【市民】

会長からは要望があればと言われていたけど、さっきの説明の中で今回は要望を目的と  
したものじゃあ無いって言われましたよね。

吉見の渡船待合所がありますが、冬場はものすごく寒くなるので、2年前に死にそうに  
なったお婆ちゃんがいる、もうあまりに寒くて、それじゃあいけんとなって自治会で電気  
ストーブを買って待合所に置きました。だけど、あそこに置いていたら昼間でも物が良く  
無くなる。知っているだけでも扇風機やコタツを自治会や個人で置いているけど、昼間の  
内に無くなる。

【市民】

吉見港の、青雲寮のすぐ横にある待合所。

【市】

不届き千万ですね。

【市民】

それで、電気ストーブが無くなっても仕方がないという覚悟で、一念そこに取り付けた  
ら、取られはしなかったけど、できればお金のいることなので、無理も言われなくても、  
あの狭い待合所なので、冷暖房ぐらい市でどうにかならんものだろうかと思って。

冷暖房なら、そもそも持って逃げる人はいないと思って。置いただけの物は、すぐによ  
その人がみな持っていくからね。

【市民】

あと、渡船の待合室なんですが、市でロッカーを付けてもらえないかという要望を出し  
ていて、今、ロッカーを探してもらっているんですけど、古いロッカーで良いから、ちゃ  
んと鍵が掛かるようなロッカーで、その鍵を渡船の船員に預けて、使いたい人がその鍵を  
もらって使うようにしたらどうかということです。

【市民】

物が無くなるという件も、もし青雲寮を新たに作るとしたら、待合室も寮と一緒に作れ  
たらいいんだけど、市は縦割りでガスも通せないとか、これは教育委員会のことでしょう  
が。その二つを合せたら経費も安く済むんじゃないかと思いますが、縦割りなので難しい  
ことだとは思っています。市長も待合室みたいなものと一緒に青雲寮を作ったら良いので

はないかと結構、乗り気では言われていました。

【市】

恐らく、補助金の問題もあって、なかなか難しいという事もあるのですが、そういった課題が無ければ、もう大概の施設が寮にはあるでしょうから、出来ない事はないと思いますけどね。

一部だけ、青雲寮から外せば良い訳なので、今はあれだけ大きな寮は要らないでしょうし、両サイド、男子と女子で部屋を分けても今ほどの部屋数は要りませんから、出来ないことは無いなという気はします。いずれ整備しないといけないのなら。

【市民】

もう壊してしまって、別に小さな寮を建てたら価格も安くて済むのではと思っています。

【市】

今の寮を補修するのと比べれば、そうかもしれないですね。

【市民】

とにかく、老人会からの要望はそういう事で、若い衆は車に冷暖房があるので、若い衆の事は考えなくてもいいけど、年寄りも、とにかく夏はサウナ状態だし、冬は凍えてしまいますので、何か考えてあげないと。

【市】

そうですね。それは青雲寮と一緒に待合所を整備した方がいいですね。

【市民】

多分、その待合所に冷暖房設備を付けても、盗られたり悪戯されたりすることも大いに考えられるので、寮と一緒にそういった心配もないでしょうから、市が言われていることは分かりました。

【市民】

寮と一緒に待合室を整備といっても、教育委員会と港湾局は違う訳だから、色々難しいことも出てくるので、今の待合所だけで考えたほうが手っ取り早い。

【市】

待合所の冷暖房ですが、市販のモノを民間で付けると安価な製品で、安く付けることができますが、市が付けるとなると結構、高い製品を付けますからね。

【市民】

安いエアコンをつけて、今は蓋井丸の船員が待合所の鍵を持っているけど、自分たち個人、個人で鍵を持つようにすれば、使いたい人が自由に開閉できるから便利じゃないか。

【市民】

でも、待合所は蓋井島で占有していいの。

【市民】

待合所は港湾局が管理しているから、予算がつけば何とかできると思うし、ロッカーも余った物があればと探してもらっている。あれば付けるけど、もし無かったら来年度予算で付けると聞いている。

【市民】

市役所の中なら余ったロッカーくらいあると思うし、今も勝山支所が建替え中だから廃棄される物もあると思うよ。

【司会】

まあご要望は分かりました。じゃあ次、民生委員のほうから。

【市民】

民生委員とは余り関係ないかと思いますが、今、シルバー一月間で沢山の人が島にやって来られていますが、来られてもなかなか休む場所が無くて。漁師さんが作ってくれたその東屋も段々と老朽化してきました。来られた方からも、ここに来て休む場所がないねと良く言われたりするんですね。なので、ちょっと綺麗な休む場所を作ってもらえればと思います。

それに、子供たちは外で遊んでいます、暑いときでもやっぱり子供は公園で遊びたいけど日陰が無いので、この公園を作ったときにも、日陰になる場所を作って欲しいと市に要望しました。ちょっとお母さん方が座って休めるような場所を作って下さいと伝えていたのですが、市からは、申し訳ないが予算が無いので、小さな滑り台とガードレールまでしかできないと言われました。

これからまちづくりが始まるという事で、沢山の方が来られても休める場所、東屋的なものをその公園の近くに作ったり、公園を違う所にも増やしてもらえれば、お休みに本土から子供たちが来たときに遊ぶこともできるので、そういうものを少しお願いできたらなと思います。

【市民】

行政の横の繋がり、蓋井丸の待合室と兼用のような形で作れないですか。

【市】

縦割りではダメだと言っているが、なかなか難しいところがあるかもしれない。

作るとしたら公園の中がいいですか、それとも待合所がいいですか。

【市民】

待合所でもいいし、特にどこでもいいです。

【市】

逆に公園が待合所になっていてもいいですか。

【市民】

島の場合は猫が入ってくるので、それこそ猫が入らないように公園も網を張ってもらわないと糞をするので。ガードレールはしてもらったけど、自分たちで網を張って猫が入らないようにしていますが、今ある東屋みたいなのがちょっとお洒落かも。

【市】

どちらにしても部署は違いますが、多分、ガードレールとその待合所も順番にやりますといった話になるんでしょうね。

【司会】

ではスポーツ振興会から発言願います。

【市民】

スポーツの話ではないですし、要望でも無いんですけど、今度、島でイベントがあって、市役所に関係した人が蓋井島に行ってみたい、蓋井島をもっと知りたいという人達を集めて、蓋井島でイベントをしようという話がありました。

島もお手伝いするというので、イベントに参加した人達が島のことを色々な場所でPRすることで、民宿なんかのお客さんが増えたらいいなといった感じです。

それも、やっぱりまちづくりにつながるのかなと思っています。

それと、集落協定を市と島が結ぶことで、市からお金を貰えるので、それを使ったイベントを開催し、もっと島のことを広めていきたいと思っている人もいます。

#### 【市】

六連島では、市内の小学生を100人くらい島に招いて、島の中で体験学習する取り組みをしているので、蓋井島でも同じような取り組みができればいいですね。

#### 【司会】

今、吉見の水産大学校が、中山間地域づくり事業を活用して、本土の小・中学生を島に呼ぶ取り組みをさせていただいていますが、やはり子供さんを呼ぶとなると、やっぱり我々も責任なんかがありまして、大勢というのは少し難しいですね。

それに、蓋井丸の定員が85名ですから、でも、今も交流はやっています。

次は消防団からお願いします。

#### 【市民】

昨年のタウンミーティングで、市長が来られたときに要望を出していた消防用ポンプを今度1台配備してもらえることになりました。

先日、消防局の警防課から電話があって12月頃には配備できると言われていたので、大変良かったと思います。

それと、先ほど部長が子供の話の中で幼稚園とか保育園のことを言われましたが、現在、島には小学校に上がる前の子供が7～8名います。

先日、自治会長が市長と議長に要望書を渡した際、週に2～3回ほど本土側から保育資格を持った人が来られるという話もあったのですが、仮に子供を持つ島の母親が保育園のような取り組みをして、子供たちの教材、4歳、5歳くらいの子供が遊べるようなものを買いたいとなった時には、市から支援して頂けるのか。

#### 【市】

出来るかどうかと言われますと、すぐに出来ますとは言えませんが、ボランティアでやった場合という話でしょうか。そのお母さん方がボランティアでという意味です。

だから、正式な保育園という話なら保育料を親からもらいますから、保護者から保護者に保育料を払うという話にもなるし、当然、それだけでは経費も賄えないでしょうが、一定の基準で保育料をもらおうといった話も必要かと思います。

幼稚園は本土側では月に9,000円くらい、幼稚園ならそういったような現状だろうと思います。

それは正式な場合ですが、私が先ほど言ったのは、例えば保育士や幼稚園教諭の免許を持ってということではなくて、お母さんが無認可の保育所のようなものをやりたいので、

何か支援して貰えないかと言われれば、それは無認可の保育所だけでも、子供を預ける人たちから金を貰うことが前提になるだろうと思います。それを無料でという話なら、直ぐにそういった話にもならないと。

それで何らかの形、例えば教材費や人件費の一部だとかいったものを補助できるとなれば、相談対象になるかもしれないということですが、私も制度は詳しく分かりませんし、現在、そんな仕組みも無いので、新しくそういうもの考えていかなければならないという話になります。

私が先ほど言ったのは、島に正式な保育園を作るよりも、母親同士でボランティアでした方が、経費も安く済むんじゃないかと思っただけの発言です。

**【市民】**

今は午前中、全員隣近所の子供ばかりなので、その公園に集まって、普通に騒いで泣いて帰ったりとかしていますが、それもやはり親がついて行ったり、まだ小さな子供もいるので親が。他の親にあずけるようなところがあるんです。

それに、自治会長に頼んで漁村センターの部屋を借り、週に1回でも皆で集まって普通に折り紙なんかをするとしたら、正式に何も決まっていな段階なので、市からの援助も難しいとは思いますが、どうにかなるものかなということですが。

**【市】**

私も、このまちづくりの中で、島の中で子育て支援をしていくんだということで、自分たちでやるから絵本であるとか教材を自分でやってくるのは有りだと思っただけね。

**【市】**

幼稚園や保育園となるとなかなか難しいけど、今、同じような子育て支援センターというのがあるんですよ。あれなら多分、保育園や幼稚園では教育要領や保育指針に基づいて運営しないといけませんといった色々な制約が掛かりますが、子育て支援センターは、別に教育や保育をするのではなくて、子育てをするお母さん方と一緒にいうか、保育園が終わった後とか、保育園が元々無いので日中からそういったことをすれば良いねといった話で、それに対して何か支援が無いかと言われれば、市も考えられるかなという気がします。

**【市民】**

週に1～2回、本土から資格を持った人に来てもらってと言う要望は出しているけど、難しい話かなというのもあるので、それこそ2週間に1回でも来てもらえるなら、色々な遊びなんかも教えてもらえたりもできるので、島のお母さんたちにそういう話をしてもらえればと思います。

**【司会】**

ここから近い子育て支援センターは筋川にありますけど、そこから週に2回くらいなら来ても良いのではないかとこの話は関係課から頂いているのですが。

だけど、なかなか直ぐにはいかないみたいです。

**【市】**

特に保育園や幼稚園でなければダメだという訳では無いのですね。今、言ったようになかなかそう言っていたら実現も難しい部分がありますので、何か折衷案のようなものは

無いかな。

それに固執している訳では無いのですよね。子供たちの面倒みてくれる。その中で、誰かが読み聞かせをしたりするのは、それは母親たちがやればいい話なので、ちょっと関係課にお伝えしておきましょう。

【市民】

暇な人がちょっと本を読んであげたり、今日は自分がしたから、今度はお願いといった感じでも良いですし。

【市】

だから子育て支援センターの話も無いことはなかったのですか。

【司会】

この前の陳情に行ったとき、市長からは、週に2回程度ならいうお話を伺いました。

【市】

週に2回ですか、島に来るとなるとかなりの頻度ですね。

【司会】

その程度であれば可能であろうという話にはなっているのですが、まだそれが実現されていない状況です。

【市】

分かりました。

【司会】

もう、予定時間を過ぎていますが。

【市】

では、こちらにお返し頂いたということで集会を閉めたいと思います。

本日は、色々なご意見いただき、前のスクリーンにも整理しておりますが、また改めて市のホームページにも掲載させていただきますし、今日の意見も整理した上で掲載しますので、皆さん、色々なご意見ありがとうございました。

【市】

通例であれば、最後に市から一言、お話をさせて頂いておりますが、本日の集会では、課題ごとに市とやり取りしながら進めてきましたので、止めておきたいと思います。

【市】

以上をもちまして、蓋井島地区まちづくり集会を閉じたいと思います。

皆さん、ありがとうございました。